

英語教材の利用状況

1. 概要

1年生の英語授業利用を主目的として、Web学習プログラム（コンテンツ）のALC NetAcademyを2004年に導入し、2008年にはALC NetAcademy2へのバージョンアップを経て、コンテンツ・コースの追加による学習コンテンツの充実化を図ってきた。

新TOEIC方式の教材として、スマートフォンの利用も可能な、ATR CALL BRIXを教材として選定した。2018年度からは「TOEIC L&R実力判定テスト」コースを導入し、ALC NetAcademy2と合わせて授業利用を開始している。

尚、ALC NetAcademy2は2019年度を以ってサービス終了となる。

2. 利用状況

(1). ALC NetAcademy2

▼利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	1926	1885	1838	1801	15	1966	2004	1972	1868	1856	35	36
2019年度入学	1855	1849	1812	1777	4	1946	1982	1940	1839	1841	21	14
2018年度入学	29	13	9	11	7	11	9	11	16	9	8	12
2017年度入学	29	16	8	7	1	3	8	14	6	3	5	5
2016年度入学	11	6	8	4	2	4	4	6	4	2	0	4
2015年度以前	2	1	1	2	1	2	1	1	3	1	1	1

表1：利用人数サマリ（ALC Netacademy2）

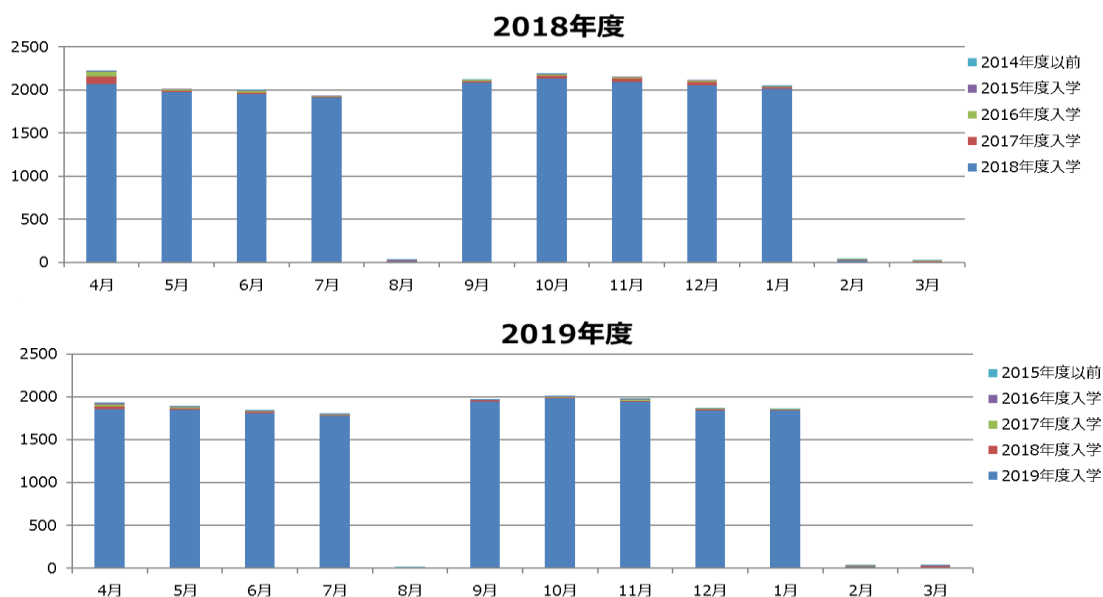


図1：利用人数グラフ（ALC Netacademy2）

(2). ATR CALL BRIX

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体	202	883	1553	1489	6	149	1122	1611	449	1450	12	14
2019年度入学	189	872	1549	1485	1	143	1113	1601	440	1445	7	5
2018年度入学	8	2	4	3	4	3	8	9	8	3	5	8
2017年度入学	4	7	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0
2016年度入学	1	2	0	1	1	3	0	0	0	0	0	1
2015年度以前	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

表 2 : 利用人数サマリ (ATR CALL BRIX)

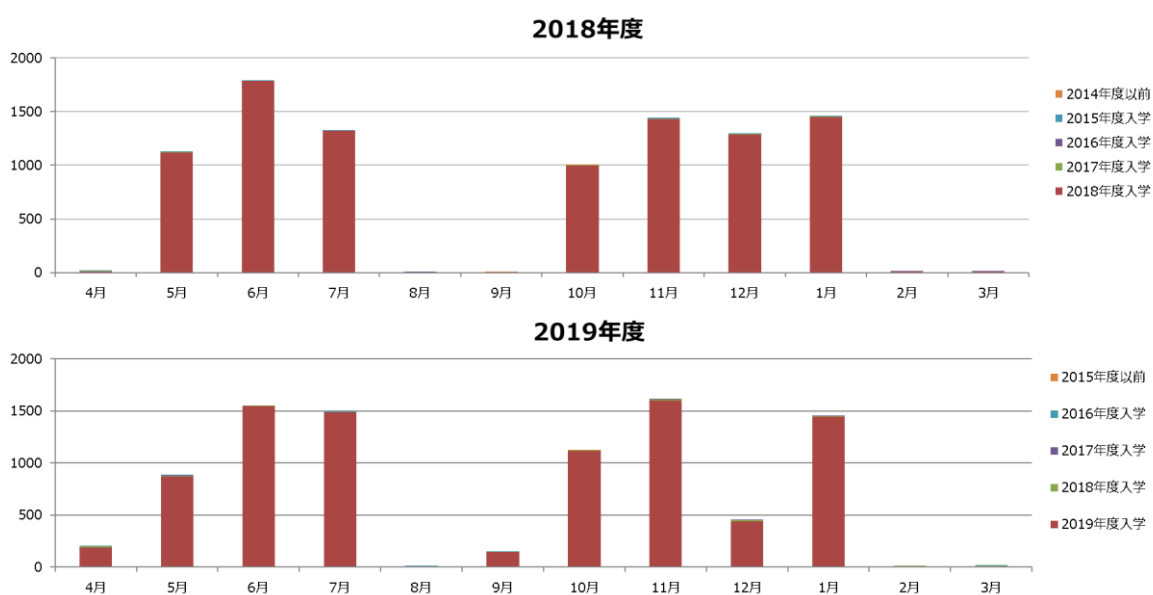


図 2 : 利用人数グラフ (ATR CALL BRIX)

3. 2019年度のまとめ

昨年度と同様、ALC NetAcademy2、ATR CALL BRIX 共に、利用者の割合は1年生が大半を占めており、2年生以降の利用者が大幅に減少していることで、授業以外での利用がされていないことが分かる

また、年間を通した利用頻度は、春学期、秋学期の授業期間の利用が大半を占めており、授業以外で利用されていないことが伺える。

2020年度以降については、1年生の英語授業に関するカリキュラムが一新され、ATR CALL BRIXの授業利用は無くなり、自学用としてのみ利用される形となる。